



情報システムの活用

■「FU ポータル」を使いこなそう (情報システムへの入口)

福岡大学では、履修登録、授業、成績確認、図書館利用、就職活動など、皆さんの学生生活をサポートするために、たくさんのコンピュータ(情報システム)で情報サービスを提供しています。情報ネットワークによって互いに接続されているこれらのシステムを利用するために、学生一人ひとりに、FU ポータルという個別の入口が設けてあります。

FU ポータルを使いこなすと、上に述べたさまざまな情報システムや電子メールを効率的に利用することができます。また、大学からの重要なお知らせや日々の連絡事項もFU ポータルに通知されますので、1日に1度はアクセスしてください。また、大学の携帯ウェブサイトでは、休講・補講の情報が確認できます。

Check!

福岡大学 ネットワークシステム



◎FU ポータル

<http://portal.fukuoka-u.ac.jp/>

◎福岡大学 携帯ウェブサイト

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/i/>

■「福大 ID」 (アカウント名とパスワード)

PC 教室や自宅から FU ポータルを通して学内の情報システムを利用するには、アカウント「福大 ID」(アカウント名とパスワード)が必要です。福大 ID は入学時に皆さん一人ひとりに与えられます。

パスワードについては、少なくとも1年に1回の変更を義務付けています。

なぜでしょうか。それは、あなた自身の情報を守るためです。あなただけが知っているパスワードを守ることで、ネットワークを經由してあなたの個人情報(他人に盗まれることや、悪意を持った人があなたの名前をかたってネットワークの中で不正な作業を行うことを未然に防ぐことが可能になるからです。ですから、パスワードを他人に教えるのも厳禁です。

なお、アカウント名は卒業するまで変わりません。



Check!

総合情報処理センター ウェブサイト

<https://www.ipc.fukuoka-u.ac.jp/>
(「FU ポータル」や「福大 ID」についてわからないことがあったら、総合情報処理センターへ)

■ コンピュータウイルスの脅威から身を守ろう

大学の中にある PC 教室からインターネット情報を集めるだけなら、治安の行き届いた街を散策してウィンドウショッピングするのと同じくらい安全なことだと思います。PC 教室のパソコンにはインターネット上の脅威に対し多重のセキュリティ対策を講じていますが、それでも100%の対策とは言い切れないのがインターネットの世界です。大学外のインターネットには、どこに落とし穴があるのかわかりません。秘密にしておきたい情報が、あつという間に世間に広まってしまう危険があることを肝に銘じてください。ネットワークやメールあるいは USB メモリーや SD カードからウイルスに感染しないよう、個人所有の PC やスマートフォンはウイルス対策ソフトなどのセキュリティ対策を万全にしましょう。

なお、大学では、ウイルス対策ソフトの無償配付を行っています。詳しくは、総合情報処理センター利用者受付にお尋ねください。



文系センター棟先進 PC 教室 A

インターネットを利用した遠隔講義システムを備えています。

■ 便利なコミュニケーションアプリを使う

Facebook、LINE、Twitterなどは、本当に便利なアプリケーションです。ゼミ、友人、家族など、グループ内の電話や掲示板に代わる連絡手段、同好者の情報交換や情報発信、日本中だけでなく外国語を使えば世界中にも情報を発信することができます。賢く使いたいものです。

ただし、仲間内の会話の不用意な発言や意見が他人を傷つけることもあるし、あなた自身が傷つくかもしれません。また、アプリの設定を間違えると、想定外の範囲で日本中あるいは世界中に広まってしまうかもしれません。緊張感をもって利用しましょう。

最後にひと言

インターネットにおけるコミュニケーションであっても、私たちが生活している現実社会と同じように、人間として基本的なルールを守ることが大切です。

